

田中信弘教授
追悼号



ありし日の田中信弘教授

故 田中信弘先生を偲ぶ

杏林大学総合政策学部長

北 島 勉

2022年4月15日に田中信弘教授が他界されました。享年61歳でした。

田中先生は、慶応義塾大学商学研究科博士課程在学中の1992年に杏林大学社会科学部に助手として着任されました。1993年に同博士課程を満期退学された後、1994年に講師、1997年に助教授、2004年に総合政策学部・大学院国際協力研究科の教授に昇任されました。

経営学がご専門で、特にコーポレートガバナンスや企業の社会的責任を中心に研究活動を行って来られ、文部科学省の科学研究費助成事業にも複数回採択されております。それらの研究成果を国内外の学会での研究発表や、多数の学術論文や著書として残されました。総合政策学部の有志の教員により2022年3月に出版された「ポストコロナ社会とSDGs」（川村真理・北島勉編、弘文堂）では「持続可能な企業活動と社会的責任—企業とステークホルダーの相互作用」を執筆いただきました。また、日本マネジメント学会理事・幹事、日本経営学会幹事、財政改革委員会委員などを歴任されるなど、学術学会においても活躍されました。

教育では、学部と大学院国際協力研究科での講義や演習を通して多くの学生を育成されました。2021年度には、総合政策学部において、経営管理論、現代企業論、財務管理論、学際演習（日本の論点）、学際演習（エクセル）、ゼミナール、卒業研究を担当されました。また、学務においては、入試実施委員長、就職委員長、キャリアサポートセンター副センター長、研究図書委員長、学部運営委員を歴任され、総合政策学部の発展にご尽力いただきました。

私は、田中先生とは研究分野が異なりますが、本学の協定校であるタイのコンケン大学国際学部が開催したThe 1st International Conference on Busi-

ness management and social sciences: toward ASEAN integration 2015 という国際学術大会と一緒に参加したことがあります。田中先生は、学術大会の基調講演で、企業の社会的責任の動向に関する報告をされました。学術大会終了後に田中先生や他の参加者とともにコンケンの街を散策したり、タイ料理を食べたり、学会の懇親会でタイ・ダンスを踊ったり、とても楽しいひとときを過ごしたことを懐かしく思い出します。

病気療養中に何度か井の頭キャンパスに寄って下さり、回復後の講義のことなどをお話されていました。復帰が叶わなかったのは本当に残念でなりません。

田中先生とともに教育研究活動を行って来た総合政策学部の教員諸氏の論文を集め、本号を追悼号として発刊することになりました。田中先生の長年にわたる総合政策学部へのご貢献に感謝するとともに、私たちは、学部をより一層発展させるために力を合わせることで先生の思いに応えていきたいと思えます。